

令和2年度外部評価資料

担当部課

福祉部長寿課

番号	S20	施策名	高齢者の在宅介護事業、日常生活支援事業の見直し
----	-----	-----	-------------------------

選定意図	市独自の制度であり、今後高齢者の人口増による支出の拡大が予想される。令和2年度に制度の統廃合や負担割合について検討予定であるため、今後の方向性について委員の意見を伺いたい。
------	--

事業概要	<p>高齢者の日常生活における安全性、快適性及び利便性の向上や、高齢者を支える家族の経済的支援等を目的として、以下の高齢者福祉サービスを実施している。</p> <p>【対象事業】 紙おむつ助成事業、訪問理美容サービス事業、緊急通報システム事業、寝具・洗濯乾燥事業、家具転倒防止事業、高齢者防犯対策事業、高齢者住宅改修事業</p>
------	--

課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の人口増により支出の拡大が予想される。 ・各事業の当初の目的は、高齢者を支える家族の経済的支援及び要介護者の健康的な生活の支援であったが、現状では、単なる便利サービスとなっている。 ・利用者に偏りがある。
----	--

課題に対する担当課意見	利用実績がほぼ無く、見直し対象となっていない事業(家族介護慰労金、在日外国人福祉給付金)も含めて、高齢者福祉サービス事業全般を見直す。単なる高齢者の「便利」サービスとならないよう、真に支援が必要な高齢者に届くサービスへの転換を図るために、令和2年度中に対象者や受益者負担等の精査、事業の廃止を行い、令和3年度から実施する。
-------------	---

課題に対する行革担当課意見	<ul style="list-style-type: none"> ・受益者負担の適正化、支出の抑制、事業目的の明確化が図られるよう取り組まれない。 ・施策評価票のスケジュールにあるとおり、今年度見直しを行い、来年度からの実施に向けて引き続き取り組まれない。
---------------	--

バックデータ	<p>【令和元年度実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・紙おむつ助成事業6,372千円(171人、206件) ・訪問理美容サービス事業263千円(27人、27件) ・緊急通報システム事業(業務委託費、保守料、設置工事費)7,267千円(178人) ・寝具・洗濯乾燥事業959千円(109人、148件) ・家具転倒防止事業63千円(8世帯11人、8件) ・高齢者防犯対策事業71千円(5世帯6人、5件) ・高齢者住宅改修事業2,245千円(8人、8件) <p>(別添資料:各事業概要、介護認定状況・障害者手帳所持者数等)</p>
--------	---